

作成日 2019年10月16日

2017年3月1日以降に、  
倉敷平成病院の運転免許外来を受診された方、およびそのご家族の方へ  
「運転免許外来の実態調査」へご協力をお願い～

研究機関名 倉敷平成病院  
研究機関長 倉敷平成病院 院長 高尾芳樹  
研究責任者 倉敷平成病院 認知症疾患医療センター センター長 医師 涌谷陽介  
倉敷平成病院 医療秘書課 副主任 上野節子

## 1. 研究の背景及び目的

現在、高齢化の進展に伴い、高齢ドライバーの数も急速に増加しています。高齢者の関わる交通事故もそれに伴い増加しており、特に認知機能の衰えによって生じる交通事故に注目が集まっています。加齢による身体機能・認知機能の衰えだけでなく、認知症による認知機能の衰えが原因となる交通事故であることがあります。

このような社会的背景から、2017年3月の道路交通法改正では75歳以上の運転免許更新時に認知機能検査が義務づけられ、「認知症の恐れがある」と判定された方は、医学的な診断を受けることが必要となりました。

当院の運転免許外来（「認知症の恐れがある」と判定された方が受診する外来）やもの忘れ外来では、各種検査結果を参考に、ご本人およびご家族との対話を通じて今後も安全運転が可能か検討し、運転継続が可能であるかや必要に応じて運転免許自主返納（以下自主返納）をすべきであることを説明しています。

今回の研究では、当院運転免許外来に受診した方を中心に認知機能スコア等の推移と経過（免許中止、免許継続、自主返納）の抽出や、居住地や家族構成を分類・解析し、スムーズな運転免許自主返納に必要な環境調査を行うこととしました。

また、岡山県公安委員会から提供された岡山県内の75歳以上の自主返納者の実態を分析し、居住地・家族構成や市町村による支援事業の格差によって見えてくる問題を明らかにします。更に、当院の結果とも比較検討し、スムーズな自主返納や返納後のQOL（生活の質）の維持にどのような支援体制が必要であるのかを明らかにしていきます。

## 2. 研究対象者

2017年3月以降に、当院運転免許外来を受診した方、あるいはもの忘れ外来において自動車運転免許に関わる問題がある方。

### 3. 研究期間

2019年11月1日～2021年3月31日（延長される可能性あり）

### 4. 研究方法

当院運転免許外来受診者（およびもの忘れ外来受診者のうち運転免許の問題が生じた受診者）の実態調査（年齢・性別・居住地・家族構成・経過・認知機能スコア等の診療情報）を行い、自主返納に関わる因子を抽出します。

また、岡山県公安委員会から協力を得て、岡山県在住の75歳以上の高齢者の自主返納者の実態調査（年齢・性別・居住地）を行います。

### 5. 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は使用しません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシー保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、居住地域（市街地、農村部等）、家族構成、診断名・経過・認知機能スコアなどの医学的診療情報

### 6. 研究計画

この研究は、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形で、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

倉敷平成病院 医療秘書課 副主任

氏名：上野節子

電話：086-427-1111（平日8：30～17：00）

FAX：086-427-8001